

県民の皆さまへ

家庭は、教育の原点であり、すべての教育の出発点です。基本的な生活習慣や善悪の判断など、子どもたちが社会生活を営むための基本的なルールやマナーは家庭でなくてはなりません。

しかし、近年、物質的豊かさが進む一方で、都市化、少子化、核家族化、地域のつながりの希薄化など、社会は急激に変化してきました。こうしたなかで、全国的に、育児不安の増大、児童虐待の急増などが問題となるとともに、過保護、過干渉、放任など、家庭教育力の低下が指摘されています。また、少年非行、いじめ、子どもによる重大事件などがあつとを絶ちません。

このため、熊本県教育委員会では、「愛としつけ—子どもを育てるキャンペーン」の一環として、さまざまな分野の方々の協力を得ながら「くまもと家庭教育10か条」を策定しました。この10か条は、家庭教育に携わる大人に向けた「9つの条文」と「わが家の1か条」からできています。また、それぞれの条文が、「わたしは」から始まる子どもの思いとセットになっています。家庭教育の基本的な指針として、ご活用いただければ幸いです。

いまこそ、私たちみんなが家庭教育の大切さと役割を考え、「熊本に生まれて良かった」と言える子どもを一人でも多くはぐくもうではありませんか。

～くまもと家庭教育支援条例が制定されました～

熊本県では、本条例に基づき家庭教育を支援するための様々な取組を総合的、継続的に推進していきます。
平成25年4月1日施行

わが家の1か条(作品例)

皆さんのご家庭でも、家庭で大切にしたいことや、約束ごとなどを、お子さんと一緒に話し合っ「わが家の1か条」を作ってみませんか。

【家族のコミュニケーション】

- ・明るく我が家 心からいて にこにこ笑顔
- ・大切ね 家族でもおれ 「ありがとう」
- ・抱きしめよう いくつになっても ぽっつとしよう
- ・おやすみ前 絵本でつなぐ 親子の愛
- ・ごめんなさい 親も子も 真直に謝る心がけ
- ・テレビ消し 親子の会話 始めよう

【周りの人に対する接し方】

- ・いつでも元気を忘れない 笑顔は心を開くかざ
- ・持ちたいね 人の気持ちか わかる心

【生活習慣】

- ・早起早寝 規則正しい生活を
- ・我が家の顔だ 玄関のくつならべ

【お手伝い】

- ・お手伝い できることから やりましょう
- ・できることは自分でやろう

【食事】

- ・元気の1日過ごす為 朝食は しっかり食べようよ
- ・みんなでおいしく食べよう 夕ご飯
- ・愛情弁当 残さず食べて 感謝の心

【その他】

- ・子育ては 焦らず温かい気持ちで ゆったりと
- ・命を大切にする
- ・くいじめよう 変えられるのは我が家から
- ・どこに行く、いつ帰る 約束できて安心だ

ご家庭で大切にしていること、教えてください。わが家の1か条募集。詳細はホームページへ。



©2013 熊本県くまモン

問合せ

熊本県教育庁教育総務局社会教育課家庭教育支援班

〒862-8609 熊本市中央区水前寺6丁目18-1

☎096-333-2698 (ダイヤルイン)

Eメール: shakaikyoku@pref.kumamoto.lg.jp

熊本県教育委員会ホームページ <http://kyouiku.higo.ed.jp/>

家庭教育 をクリック



各条文の全文はホームページでご覧いただけます。

家庭教育について 考えてみませんか



くまもと家庭教育

10か条



熊本県教育委員会

第1条 (家族の信頼感)

伝えよう
愛しているよの メッセージ

わたしは、家族にとって本当に
かけがえのない存在なのですね。

第2条 (あいさつの習慣化)

朝昼晩
元気にあいさつ 習慣に

わたしは、「おはよう」「こんにちは」
「こんばんは」のあいさつをすると、
いきいき過ごせます。

第3条 (善悪の区別)

教えよう
事の善し悪し 臆から

わたしは、していいこと・して
はいけないことをきちんと教わ
りたいのです。

第4条 (感謝の心)

「ありがとう」は
生きゆく心の 出発点

わたしは、みんなに感謝して
生きています。

人、もの、自然への感謝
の心を大切にしたいね。

第5条 (我慢する力)

肥後っ子の
あすを支える がまん力

わたしにとって、一つ一つの小さ
な我慢の積み重ねが生きていく糧
になっています。

がまん力は人間形成の
基盤になるんだモン。

第6条 (命の大切さ)

自分の命 みんなの命
どれもが世界で1つだけ

わたしは、生まれてきてよかつ
たです。みんなの命を大切に
します。

第7条 (食事・団らん)

家族仲良く 食事・団らん
心と体に栄養を

わたしは、家族仲良く食事をし
たり話をしたりする時間がとつ
ても好きです。

第8条 (体験の意義)

体験で 得られる本物
知と心

わたしは、体験を通して気づいた
のです。わがったのです。変わった
のです。

第9条 (地域全体での子育て)

この子もあの子も
地域で子育て みんなの宝

わたしのことを、近所のおじさん、
おばさん、おにいさん、おねえ
さん、みんなが見守っていてく
れるのですね。

子育てはみんなできさ
えるモン。

発達段階に応じたあいさつができてきている子どもの割合



元気なあいさつでボリ
も元気になるモン。

自然体験と人間関係能力の関係



「子どもの頃の自
然体験」と「人とガ
がわりあう力」は、
つながりがあるん
だね。

【自然体験】(子どもの頃の体験)
おやうで目を揉んだり鼻をぶついたりしてこ
えが耳とこころや心とこころを繋ぐこと
在空(いっしょ)に動く息を繋ぐことなど
【人間関係能力】(高・中・低)
一人でも緊張せずに自己紹介ができる
けんがふしたふだちを仲間とすることができる
初めて会った人とも話すことができる など

第10条

わが家の1か条

【あなたのご家庭で付け加えてください】

.....

.....

○平成25年1月調査
○公立小学校1~3年・公立幼稚園全園及び私立幼稚園・保育所は
調査対象に抽出した3期の調査結果 合計42,042人について調査
○担任の性別による調査
平成24年度熊本県教育委員会調査・調査に関する説明書より